

安井小学校 学校だより

第1回 学校評価特別号

令和元年10月
 京都市立安井小学校
 校長 當麻 章英
 TEL075-841-3130 fax075-811-3333
 HP <http://www.edu.city.kyoto.jp/hp/yasui-s/>

☆令和元年度 第1回 学校評価のまとめ☆

7月に行った学校評価アンケート結果についてお知らせします。

<学校生活について>

安井小学校では、「~~輝~~ 安井の子の育成」を学校教育目標として教育活動を推進しています。本校の教育がめざす子ども像は「生きる力」を育む「知・徳・体」の3つで構成し、「やさしく思いやりのある子」「すすんで学習を進める子」「いきいき元気な子」の育成を目指しています。

学校評価アンケート結果のうち、「友だちに仲良く、優しく接している。」の項目で、低学年で約96%、高学年で約97%の児童が「できている。」と答えています。また、保護者アンケートでも約99%が「子どもは友だちや周りの人に仲良く優しく接している。」と回答しています。友だちとの関係がよく、学校に来るのが楽しいと思っている子どもたちが多いことが分かります。「やさしく思いやりのある子」が実現され、「~~輝~~ 安井の子の育成」に近づいていると感じます。

	よく出来ている	大体出来ている	あまり出来ていない	出来ていない
(低学年) ともだちになかよく、やさしくせっている。	69.5%	26.7%	3.8%	0.0%
(高学年) 友だちに仲良く、優しく接している。	62.3%	34.8%	2.0%	1.0%
(保護者) 子どもは、友だちや周りの人に、仲良く優しく接している。	31.1%	65.8%	2.7%	0.4%

<学習について>

「授業の内容はよくわかる」という問いに対して低学年の約91%、高学年の約94%がわかると答えています。また、保護者の約95%が「学校は、学習内容がよくわかり、基礎・基本の学力がつくように支援している。」と答えています。これに対して「授業中は自分から進んで学習したり、発表したりしている。」では、低学年の約12%、高学年

の約25%が主体的に学習に取り組めていないと分りました。授業は分かるのだが、自分の考えや意見を積極的に述べるのが難しい子どももいます。「すすんで学習を進める子」を実現するために、学習の定着を図る取組を行い、主体的に学習できる授業の工夫を考えていきます。さらには、保護者の皆様と連携をとりながら家庭学習の習慣化、また、学力向上を図っていきたくと考えています。

	よく出来ている	大体出来ている	あまり出来ていない	出来ていない
(低学年)じゆぎょうのないようは、よくわかる。	61.9%	29.5%	5.7%	2.9%
(高学年)授業の内容はよくわかる。	54.7%	39.9%	4.9%	0.5%
(保護者)学校は、学習内容がよくわかり、基礎・基本の学力がつくように支援している。	31.9%	63.7%	4.0%	0.4%



<みそあじについて>

本校で長年取り組んでいる「みそあじ運動」の結果です。「みじたく、学校の準備ができる。」については低学年の約91%、高学年の約90%ができると答えています。保護者の回答では、約89%でした。概ねできているといえますが、忘れ物が目立つ児童も少なくないです。体育の用意やフッ化物洗口用のコップなどを職員室に借りに来る児童もいます。児童が予定表を見て自分で時間割を合わせて、もう1度確認するなど、ご家庭での声かけをお願いします。

「そうじ、身の回りの整理・整頓ができる。」については、低学年で約92%、高学年の約82%ができていると答えています。本校の子どもたちががんばっていることの一つとして、そうじがあげられます。みんなで協力しながら取り組むのはもちろんのこと、時間内にすみずみまできれいにそうじすることをどのクラスもがんばっています。また、美化委員会からの取組で、もくもくそうじ週間を実施する予定であり、み

んながもくもくとそうじをしてきれいに早く終わらせるようにがんばっていきます。
そうじを一生懸命がんばっている姿はとても素敵です。



「あいさつを進んでできる。」については、低学年で約 97%，高学年で約 89%の児童ができています。各学級での様子や職員室に来る児童の様子を見ると、しっかりとあいさつができていく児童が多くいます。校内で先生や友だちへのあいさつは比較的できています。放課後まなび教室の先生からは「まなびに来る子どもはしっかりとあいさつができています。」という言葉いただき、進んで気持ちよくあいさつできている子どもが増えていると感じています。これからは校内だけではなく地域の人等に進んで元気よくあいさつできるように、さらにステップアップをしてほしいです。

「時間やルールを守って行動できる。」については、低学年で約 93%，高学年で約 88%の児童ができています。子どもたちは、チャイムを意識して行動しています。昼休みの終わりのチャイムがなるとすぐにそうじに取り掛かっている子どもが多くいます。次の活動をよりいい活動にするためにも、時間をしっかりと守っていくことが大切です。それを実現できている子どもたちはとても素晴らしいです。

今後は「あまりできていない」という子どもたちができるように、今後も「みそあじ運動」の取組を推進していきたいと思っております。

(低学年)	よく出来ている	大体出来ている	あまりできていない	出来ていない
みじたく、がっこうのじゅんぴができる。	67.6%	24.1%	8.3%	0.0%
そうじ、みのまわりのせいり・せいとんができる。	61.8%	30.9%	6.4%	0.9%
あいさつをすすんでできる。	71.6%	25.7%	2.8%	0.0%
じかんやルールをまもって、こうどうできる。	68.8%	24.8%	6.4%	0.0%

(高学年)	よく出来ている	大体出来ている	あまりできていない	出来ていない
みじたく、学校の準備ができる。	52.0%	38.1%	7.9%	2.0%
そうじ、身の回りの整理・整頓ができる。	43.1%	39.6%	13.4%	4.0%
あいさつを進んでできる。	57.9%	31.2%	8.9%	2.0%
時間やルールを守って行動できる。	44.2%	44.7%	8.5%	2.5%

(保護者)	よく出来ている	大体出来ている	あまりできていない	出来ていない
みじたく、学校の準備ができる。	37.7%	51.8%	10.2%	0.4%
そうじ、身の回りの整理・整頓ができる。	10.0%	43.4%	40.2%	6.4%
あいさつを進んでできる。	19.3%	57.5%	19.3%	3.9%
時間やルールを守って行動できる。	22.5%	53.2%	22.2%	2.1%

<早寝・早起き・朝ごはんについて>

「早寝・早起き・朝ごはんができています。」と答えたのは低学年で約 80%，高学年で約 87%です。保護者アンケートでは、「早寝・早起きをさせている」が約 88%，「子どもは朝ごはんを毎日食べている。」は約 99%になっています。

早く寝たら、早く起きられ、朝ご飯を食べることができて元気に活動することができます。この基本的な生活のリズムを確立することで、よりよい体の成長とともに、心の成長や学力の向上に優位に働くとされています。そのために日ごろから「早寝・早起き・朝ごはん」の習慣化を目指し、規則正しい生活リズムの確立をお願いしたいです。

令和元年度第 1 回学校評価アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。皆様からのご意見をしっかりと受け止め、今年度の学校運営をはじめ日々の教育活動に生かしていきたいと考えています。

